

中央・山手地区（中学校） ブロック別学校再編プランの 検討のために

この資料は、地区別懇談会で参加者間の活発な意見交換ができるようにという観点で作成したものです。



ブロックの概要

町名

稲穂、花園、色内1・2丁目、港町、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船、富岡、緑、最上、松ヶ枝、天狗山

通学区域から見た現在の学校配置

小学校 色内小学校、稲穂小学校、花園小学校、緑小学校、最上小学校、入船小学校
中学校 西陵中学校、菁園中学校、松ヶ枝中学校

町別学齢人口（27年度推計）

（人）

	小学生							中学生			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	1年生	2年生	3年生	小計
稲穂	19	32	26	16	29	30	152	27	25	17	69
花園	27	27	22	23	19	30	148	27	27	25	79
色内1・2	19	8	17	13	15	12	84	15	12	8	35
港町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
堺町	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
東雲町	4	3	6	3	4	1	21	3	5	4	12
山田町	6	0	3	3	3	2	17	0	3	2	5
相生町	3	1	4	7	4	1	20	2	3	4	9
入船	36	31	44	34	35	46	226	39	33	38	110
富岡	13	11	22	19	13	20	98	31	17	21	69
緑	39	28	43	46	31	29	216	34	42	41	117
最上	24	24	20	25	24	24	141	27	24	26	77
松ヶ枝	19	15	19	14	23	18	108	21	19	22	62
天狗山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	209	180	226	203	200	214	1232	226	210	209	645

小樽市小中学校再編計画では、学校再編に当たっては次のとおりに進めるとしました。（抜粋）

- ◆ 統合の時期は、学校施設の状況、対象校の位置関係、統合前の児童生徒の交流期間等を総合的に考慮し、地区実施計画を策定し決めていきます。その際、同一地区内で、段階的な実施となる場合は、児童生徒が統廃合を繰り返して経験することのないような間隔とします。
- ◆ 統合学校は、原則として、既存の学校敷地、校舎を活用していくこととし、校舎が近年、改修・建て替えをしている場合を除き、大規模改修・建て替え時に合わせた施設設備の充実を図ることを基本とします。
- ◆ 統合学校の場所は、統合後の通学区域内のバランスと、校地・校舎の状況や通学上の安全などの条件を勘案して決定します。その際には、交通の利便性や冬期における周辺の除雪体制など、学校立地の条件としてより良好な環境であるかの観点も考慮します。
- ◆ 特別支援学級などについては、統合する時点での学級を確保し、統合学校に引き続き設置します。また、支援を必要とする児童生徒が新たに入学する場合は、原則として再編後の校区内の学校に就学できるよう配慮します。
- ◆ 学校再編に伴い、在学中に統合することになる学校への入学予定者については、再編後の新たな通学区域や通学距離を考慮した特例を、また、統合の時点での在學生についても、交友関係や通学距離などを考慮した特例を設け、指定校変更の承認をするなど学校指定に関する弾力的な運用を行います。

小学校の概要

各項目の数値は平成 21 年度現在のものです。

		色内小学校	稲穂小学校	花園小学校	緑小学校	最上小学校				
学校の規模等										
児童数	通常	143 人	355 人	188 人	173 人	223 人				
	特別支援	2 人	3 人	7 人	7 人	1 人				
学級数	通常	6 学級	12 学級	6 学級	6 学級	7 学級				
	特別支援	2 学級	2 学級	3 学級	2 学級	1 学級				
開校年月		明治 34 年 4 月	明治 28 年 2 月	明治 36 年 6 月	大正 9 年 4 月	昭和 27 年 11 月				
学校施設										
現校舎の建築年 (面積)		昭 32 (3336 ㎡)	平 7 (3545 ㎡)	昭 52 (1314 ㎡)	昭 45 (4368 ㎡)	昭 61 (4063 ㎡)				
		平 3 (642 ㎡)	平 8 (1248 ㎡)	昭 54 (2946 ㎡)						
耐震化優先度 (校舎)		②-1		③-1	①-4、②-1					
保有教室の内訳 (普通教室には学級 増で転用想定も含む)	普通	14 教室	14 教室	16 教室	20 教室	12 教室				
	特別	8 教室	7 教室	13 教室	7 教室	9 教室				
体育館面積	㎡	1,092 ㎡	1,092 ㎡	756 ㎡	734 ㎡	1,114 ㎡				
グラウンド実面積	㎡	2,700 ㎡	4,500 ㎡	3,500 ㎡	2,800 ㎡	7,300 ㎡				
通学環境										
隣接校との距離 (km)	稲穂小	(1.3)	花園小	(0.9)	稲穂小	(0.9)	花園小	(0.9)	緑 小	(1.2)
	手宮西小	(1.4)	緑 小	(1.1)	緑 小	(0.9)	稲穂小	(1.1)	入船小	(1.3)
	長橋小	(2.2)	色内小	(1.3)	量徳小	(1.3)	最上小	(1.2)	天神小	(2.3)
		量徳小	(1.8)	入船小	(1.6)	入船小	(1.4)			
在校生の最長通 学距離	(km)	長橋 1 (1.1)	富岡 2 (1.2)	相生 2 (1.1)	緑 3 (0.9)	最上 2 (1.1)				
最寄りのバス停		色内小学校下 (330m)	富岡 1 丁目 (200m)	花園公園通 (470m)	緑小学校前 (220m)	工業高校前 (150m)				
進学する中学校		西陵中	西陵中、菁園中	菁園中	西陵中、菁園中、 松ヶ枝中	松ヶ枝中				
その他										
ブロック内他校と 比較した特記事項		建築後 40 年超	社会教育施設 との複合施設		建築後 40 年超					
			ことばの教室							

小学校の概要(つづき)

		入船小学校
学校の規模等		
児童数	通常	183 人
	特別支援	1 人
学級数	通常	6 学級
	特別支援	1 学級
開校年月		昭和 5 年 12 月
学校施設		
現校舎の建築年 (面積)	昭 51 (2154 ㎡) 昭 52 (1344 ㎡)	
耐震化優先度 (校舎)	③-2、④-2	
保有教室の内訳 (普通教室には学級増で転用想定も含む)	普通	11 教室
	特別	10 教室
体育館面積 ㎡	780 ㎡	
グラウンド実面積 ㎡	4,900 ㎡	
通学環境		
隣接校との距離 (km)	奥沢小 (0.9) 最上小 (1.3) 緑小 (1.4) 花園小 (1.6) 天神小 (1.7)	
在校生の最長通学距離 (km)	松ヶ枝 2 (1.1)	
最寄りのバス停	入船学校下(330m)	
進学する中学校	菁園中、 松ヶ枝中	
その他		
ブロック内他校と比較した特記事項		

中学校の概要

各項目の数値は平成 21 年度現在のものです。

		西陵中学校	菁園中学校	松ヶ枝中学校
学校の規模等				
生徒数	通常	181 人	310 人	212 人
	特別支援	1 人	13 人	-
学級数	通常	6 学級	9 学級	6 学級
	特別支援	1 学級	3 学級	-
開校年月		昭和 22 年 5 月	昭和 22 年 5 月	昭和 32 年 4 月
学校施設				
現校舎の建築年 (面積)	昭 57 (4221 ㎡)	平 14 (5600 ㎡)	昭 31 (2691 ㎡) 昭 34 (947 ㎡) 昭 36 (1312 ㎡)	
耐震化優先度 (校舎)			①-4、②-1、 ②-2	
保有教室の内訳 (普通教室には学級増で転用想定も含む)	普通	12 教室	普通	16 教室
	特別	11 教室	特別	14 教室
体育館面積	1,024 ㎡	1,237 ㎡	1,237 ㎡	
グラウンド実面積	6,000 ㎡	3,000 ㎡	7,800 ㎡	
通学環境				
隣接校との距離 (km)	菁園中 (1.5) 松ヶ枝中 (2.6) 長橋中 (3.7)	西陵中 (1.5) 松ヶ枝中 (2.4) 潮見台中 (2.4)	向陽中 (1.8) 菁園中 (2.4) 西陵中 (2.6)	
在校生の最長通学距離 (km)	長橋 2 (1.8)	奥沢 3 (1.6)	最上 2 (1.8)	
最寄りのバス停	富岡 1 丁目 (720m)	花園公園通 (500m) 入船 2 丁目 (510m)	松ヶ枝町 (900m) 工業高校前 (570m)	
校区の小中学校	色内小、稲穂小、緑小	稲穂小、花園小、緑小、入船小、量徳小	緑小、最上小、入船小	
その他				
他校と比較した特記事項	プール設置	ことばの教室	建築後 40 年超	

統合の組合せの考え方

このブロックは、小学校3校に対し、2校の中学校に再編する予定ですので、他のブロックのように、新しい中学校校区が2つの小学校の校区をそのまま合わせた形とはなりません。

また、このブロックは、市の中央部に位置しているため、「塩谷・長橋地区」、「高島・手宮地区」「南小樽地区」の隣接するブロックの学校再編と密接に関係しています。

さらに、ブロック内の小中学校の施設の状況はそのまま統合校として使用できない経年40年以上の校舎を持つ学校が3校（松ヶ枝中、色内小、緑小）ある一方、菁園中は中学校で、稲穂小は小学校で一番最近に建て替えた学校ですし、西陵中と最上小も耐震基準を満たしている校舎となっています。

特に、ブロック内の3中学校の中では、松ヶ枝中学校が昭和31年開校時の校舎のまま老朽化が進んでいます。将来的な人口推計や立地環境から、今後の中学校再編を想定しても、現在地での建て替えは現実的ではありません。そのため、小学校の再編プランでは、校区内の最上小学校を改修したうえで松ヶ枝中学校を移転することに触れています。

そのようないくつかの観点から、学校再編計画では前期の再編期間に位置付けていますが、このブロックは小学校の再編と松ヶ枝中学校の移転検討を先行させ、一定の期間ののちに中学校の再編を実施することを検討します。

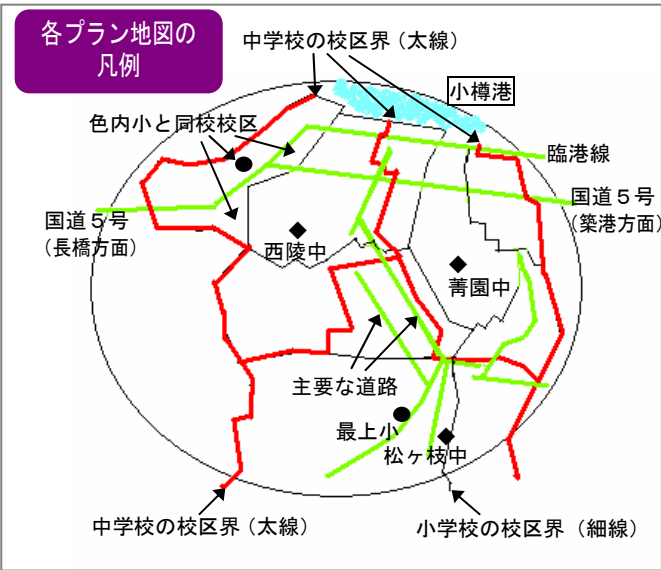
.....

ブロック内には3校の中学校がありますので、それを2校に再編する場合の組合せは、①中学校1校+2校の組合せを軸にしたプラン、②現在の中学校校区にこだわらず、現在の小学校の校区も考慮したプランの2通りの考え方でプランを作成します。

その上で、今後の実施計画作成の段階で、小学校の再編プランとの整合性を図りながら最終的な通学区域の調整を行います。

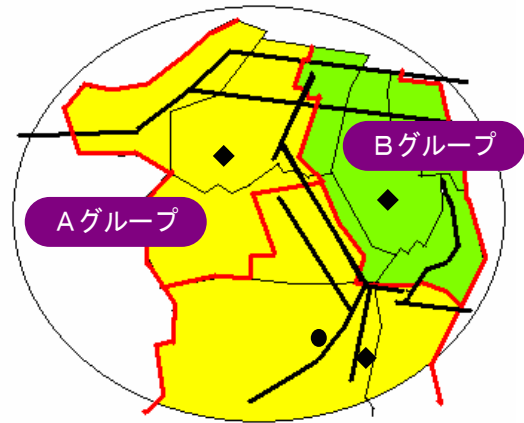
以上の考え方を原則としながら、それぞれの中学校や小学校の校区をベースにして新しい通学区域と統合校の位置を検討したプランとパターンを示します。

なお、各プランでは、便宜的に、ブロック内の西側に位置する現在の色内小校区が含まれるエリアをAグループ、含まれないエリアをBグループ（B校）としています。



中学校のプラン1

現在の中学校校区をもとにして、Aグループ（西陵中、松ヶ枝中）とB校（菁園中）の組み合わせ



組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> 西陵中の校区全域 松ヶ枝中の校区全域 	現在の西陵中	①
		現在の松ヶ枝中	②
		現在の最上小	③
B校	<ul style="list-style-type: none"> 菁園中の校区全域 	現在の菁園中	④

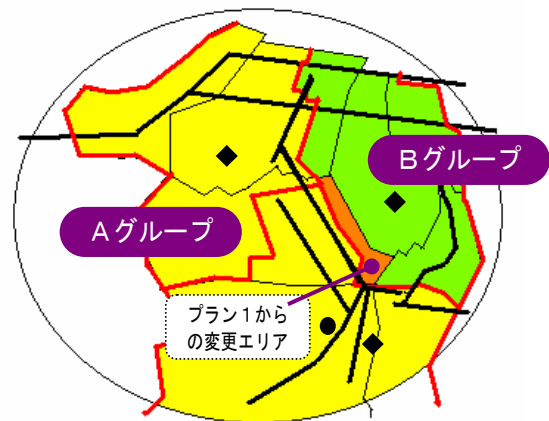
パターン	27年度生徒数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A _{グループ} -① (西陵中)	453人 13学級	最上2 3.2km	保有教室数から増築検討
A _{グループ} -② (松ヶ枝中)		色内3 4.1km	建て替え
A _{グループ} -③ (最上小)		色内3 3.9km	中学校に改修
B校-④ (菁園中)	262人 9学級	奥沢4 1.6km	

プラン1の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

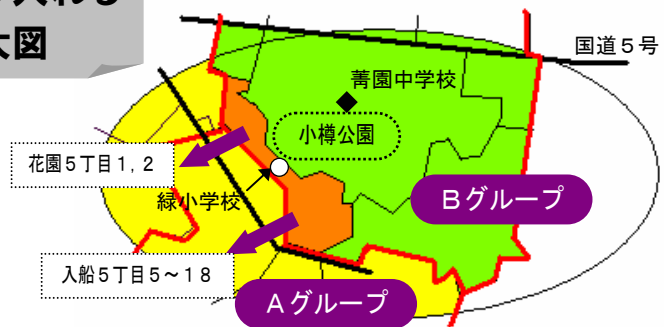
プラン1		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	164	149	140	453
	学級数	5	4	4	13
B校	生徒数	89	85	88	262
	学級数	3	3	3	9

中学校のプラン2

現在の中学校校区をもとにしたプラン1を基本にしますが、その中で、菁園中校区のうち緑小校区（入船5丁目一部と花園5丁目一部）をAグループ（西陵中、松ヶ枝中の組合せ）に組み入れたプラン



Aグループに組み入れるエリアの拡大図



組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・西陵中の校区全域 ・松ヶ枝中の校区全域 ・菁園中校区のうち緑小校区となっている入船5丁目の一部と花園5丁目の一部 	現在の西陵中	⑤
		現在の松ヶ枝中	⑥
		現在の最上小	⑦
B校	菁園中の校区の大半 (上のAグループ編入エリア=下線部を除く)	現在の菁園中	⑧

パターン	27年度生徒数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
Aグループ-⑤(西陵中)	462人 13学級	最上2 3.2km	保有教室数から増築検討
Aグループ-⑥(松ヶ枝中)		色内3 4.1km	建て替え
Aグループ-⑦(最上小)		色内3 3.9km	中学校に改修
B校-⑧(菁園中)	253人 9学級	奥沢4 1.6km	

プラン2の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン2		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	167	152	143	462
	学級数	5	4	4	13
B校	生徒数	86	82	85	253
	学級数	3	3	3	9

中学校のプラン3

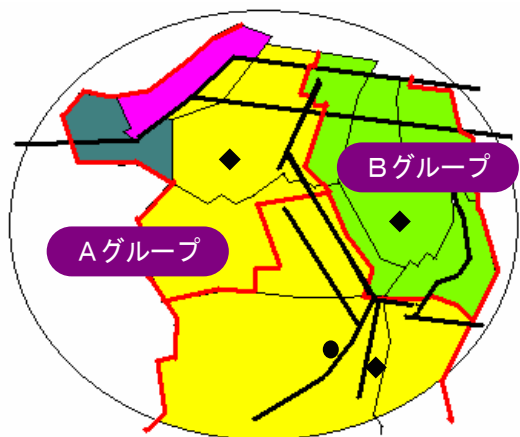
現在の中学校校区をもとにしたプラン1を基本にしますが、その中でAグループの西陵中校区のうち北西側のエリアを隣接するブロックに編入したプラン

※ブロック西側の長橋1・2丁目

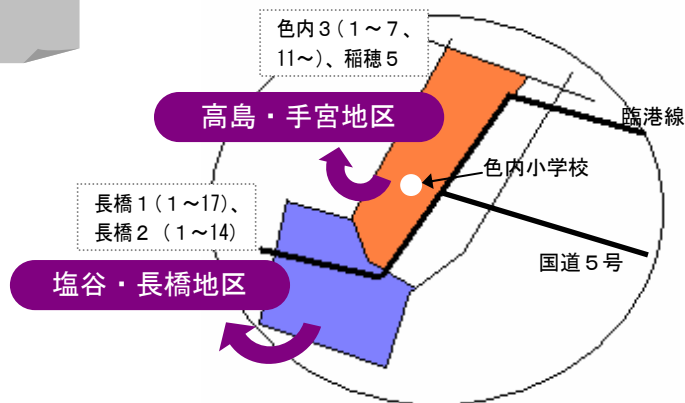
⇒塩谷・長橋地区ブロックへ、

※ブロック北側の稲穂5丁目・色内3丁目

⇒高島・手宮地区ブロックへ



隣接ブロックに編入する エリアの拡大図



組合せグループ	新しい通学区域	隣接ブロック に編入	統合校の位置	パターン
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> 西陵中校区内の色内小校区のうち色内2丁目の一部と稲穂4丁目の一部 西陵中校区のうち稲穂小と緑小校区全域 松ヶ枝中の校区全域 	<ul style="list-style-type: none"> 稲穂5丁目、色内3丁目（一部）は高島・手宮地区統合校 長橋1丁目（一部）、2丁目（一部）は塩谷・長橋地区統合校 	現在の西陵中	⑨
			現在の松ヶ枝中	⑩
			現在の最上小	⑪
B校 (プラン1と同じ)	菁園中の校区全域		現在の菁園中	④

パターン	27年度生徒数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A _{グループ} -⑨ (西陵中)	384人 12学級	最上2 3.2km	
A _{グループ} -⑩ (松ヶ枝中)		色内2 3.6km	建て替え
A _{グループ} -⑪ (最上小)		色内2 3.3km	中学校に改修
B校-④ (菁園中) (プラン1と同じ)	262人 9学級	奥沢4 1.6km	

プラン3の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン3		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	139	122	123	384
	学級数	4	4	4	12
B校 (プラン1と同じ)	生徒数	89	85	88	262
	学級数	3	3	3	9

中学校のプラン4

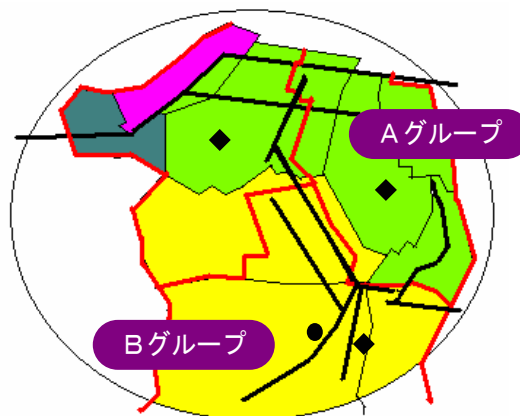
プラン3で示したように、西陵中校区のうち北西側のエリアを隣接ブロックに編入したうえで、ブロック内の組合せを小学校校区に重点を置いたプラン

■ Aグループ

色内小国道東側、稲穂小、花園小、量徳小西側（現菁園中校区）、入船小北側（現菁園中校区）

■ Bグループ

緑小、最上小、入船小南側（松ヶ枝中校区）



組合せグループ	新しい通学区域	隣接ブロックに編入	統合校の位置	パターン
Aグループ	・西陵中校区のうち 稲穂5丁目・色内3丁目、長橋1・2丁目を除く色内小校区と稲穂小校区全域	・稲穂5丁目、色内3丁目（一部）は高島・手宮地区統合校 ・長橋1丁目（一部）、2丁目（一部）は塩谷・長橋地区統合校	現在の西陵中	⑫
	・菁園中校区のうち 緑小校区の入船5丁目の一部と花園5丁目の一部を除く大部分		現在の菁園中	⑬

Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・西陵中校区のうち緑小校区 ・松ヶ枝中校区全域 ・菁園中校区のうち緑小校区の入船5丁目の一部と花園5丁目の一部 	現在の松ヶ枝中	⑭
		現在の最上小	⑮

パターン	27年度生徒数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A _グ ⑫(西陵中)	392人 13学級	奥沢4 2.9km	保有教室数から増築検討
A _グ ⑬(菁園中)		色内2 2.3km	
B _グ ⑭(松ヶ枝中)	254人 9学級	緑1 1.8km	建て替え
B _グ ⑮(最上小)		緑1 1.7km	中学校に改修

プラン4の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン4		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	146	121	125	392
	学級数	5	4	4	13
Bグループ	生徒数	82	86	86	254
	学級数	3	3	3	9

中学校のプラン5

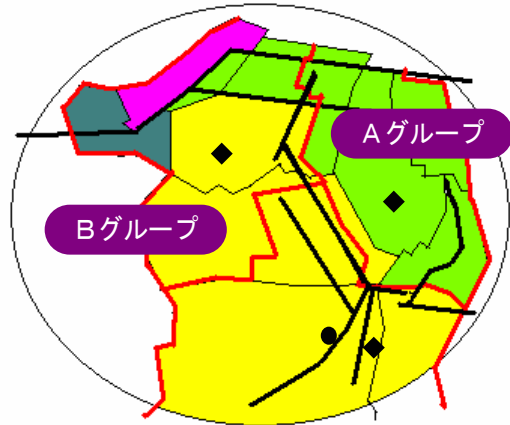
プラン4では、ブロック内の組合せを小学校校区に重点を置いているが、そのプランで、AとBグループの境界を稲穂小校区内は国道5号線の沿線に置いた組合せ

■ Aグループ

色内小国道東側、稲穂小国道沿線(鉄道)北側(花園1・2丁目を含む)、花園小、量徳小西側(菁園中校区)、入船小北側(菁園中校区)

■ Bグループ

稲穂小国道沿線(鉄道)南側(花園1・2丁目除く)、緑小、最上小、入船小南側(松ヶ枝中校区)



組合せグループ	新しい通学区域	隣接ブロックに編入	統合校の位置	パターン
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・西陵中校区のうち稲穂5丁目・色内3丁目、長橋1・2丁目を除く色内小校区と富岡1・2丁目、緑1丁目を除く稲穂小校区 ・菁園中校区のうち緑小校区の入船5丁目の一部と花園5丁目の一部を除く大部分 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲穂5丁目、色内3丁目(一部)は高島・手宮地区統合校 ・長橋1丁目(一部)、2丁目(一部)は塩谷・長橋地区統合校 	現在の菁園中	⑯
			現在の西陵中	⑰
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・西陵中校区のうち稲穂小校区の富岡1・2丁目、緑1丁目と緑小校区 ・松ヶ枝中校区全域 ・菁園中校区のうち緑小校区の入船5丁目の一部と花園5丁目の一部 		現在の松ヶ枝中	⑱
			現在の最上小	⑲

パターン	27年度生徒数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
A _{グループ} -⑯ (菁園中)	313人 10学級	色内2 2.3km	
B _{グループ} -⑰ (西陵中)	333人 10学級	最上2 3.2km	
B _{グループ} -⑱ (松ヶ枝中)		富岡2 3.1km	建て替え
B _{グループ} -⑲ (最上小)		富岡2 2.9km	中学校に改修

プラン5の場合の27年度推計学年別内訳 (人)

プラン5		1年	2年	3年	計
Aグループ	生徒数	113	102	98	313
	学級数	4	3	3	10
Bグループ	生徒数	115	105	113	333
	学級数	4	3	3	10

プランとパターンから見た場合の検討結果

- ◆ 5ページの「統合の組合せの考え方」で触れたように、このブロックの特殊性から、小学校の再編を先行させて考えますが、小学校の再編プランでは、このブロックの松ヶ枝中学校の学校施設について、校区内の最上小学校を改修したうえで移転することを想定したプランを示しました。移転先については、校区に近接する緑小学校や入船小学校も校区を広げてその移転対象の学校にすることも検討しましたが、その場合には校区の境界になってしまいます。
- ◆ そういうことから、小学校の再編プランと並行した検討が必要ですが、松ヶ枝中学校に近接し、耐震工事が不要なうえに、学校敷地面積からも中学校設置基準を十分に確保できる最上小学校を、中学校の教育活動に不足がないような改修をして、小学校の再編と連動させて松ヶ枝中学校を移転することが適当です。
- ◆ 各プランで松ヶ枝中学校を統合校の位置としたパターン（②、⑥、⑩、⑭、⑱）をあげていますが、上述のように小学校の再編プランの中で、最上小学校への改修移転が含まれない場合にのみ有効な検討パターンとなります。
- ◆ プラン別の学校規模等の比較は次の通りです。

		プラン1	プラン2	プラン3	プラン4	プラン5
Aグループ	生徒数(人)	453	462	384	392	313
	学級数(級)	13	13	12	13	10
	クラス平均人数	34.8	35.5	32	30.2	31.3
Bグループ (B校)	生徒数(人)	262	253	262	254	333
	学級数(級)	9	9	9	9	10
	クラス平均人数	29.1	28.1	29.1	28.2	33.3

- ◆ プラン別の最遠地点からの概算距離の比較は次の通りです。 (km)

		統合校の位置	プラン1	プラン2	プラン3	プラン4	プラン5
Aグループ	西陵中		3.2	3.2	3.2	2.9	
	松ヶ枝中		4.1	4.1	3.6		
	最上小		3.9	3.9	3.3		
	菁園中					2.3	2.3
Bグループ (B校)	菁園中		1.6	1.6	1.6		
	西陵中						3.2
	松ヶ枝中					1.8	3.1
	最上小					1.7	2.9

◆プラン別の施設面からの比較は次の通りです。

	統合校の位置	プラン1	プラン2	プラン3	プラン4	プラン5
Aグループ	西陵中	増築要検討	増築要検討	改修不要	増築要検討	
	松ヶ枝中	建て替え	建て替え	建て替え		
	最上小	改修工事	改修工事	改修工事		
	菁園中				改修不要	改修不要
Bグループ (B校)	菁園中	改修不要	改修不要	改修不要		
	西陵中					改修不要
	松ヶ枝中				建て替え	建て替え
	最上小				改修工事	改修工事

◆統合の組合せのグループ別には、次のようなまとめとなります。

◆ Aグループでは、プラン1と2のクラスの平均が35人前後と学級人数が比較的多くなります。

通学区域では、プラン1と2の松ヶ枝中と最上小の場合に最遠地点が4km前後と他のプランより長くなります。

施設面では、プラン3では西陵中学校、プラン4と5では菁園中学校で改修が不要です。

◆ Bグループでは、プラン5でクラス平均人数が33人前後となりますが、他のプランでは30人未満です。

通学区域では、プラン5の最遠地点が2.9kmから3.2kmと他のプランより長くなります。

施設面では、プラン4以外のプランでは、菁園中学校及び西陵中学校を使用する場合、改修が不要です。

◆以上の検討の結果、このブロックでは、①小学校の再編と連動した計画の観点から、小学校の再編を先行させ、それに引き続き松ヶ枝中学校の移転を行うこと、②段階的な実施に伴い、中学校の再編は一定の期間を置くことの2つの点を踏まえながら、生徒の居住分布、通学アクセス、施設改修の点など総合的に見て、Aグループの統合校の位置は現在の菁園中学校（パターン⑬）が適切です。また、Bグループの統合校の位置は、小学校の再編を先行させて検討することから、その結果を尊重する必要がありますが、現在の時点では最上小学校（パターン⑮）としたプラン4が適切です。

中学校のプラン3～5を選択する場合は、現在の西陵中学校の校区変更を伴いますので、「塩谷・長橋地区ブロック」と「高島・手宮地区ブロック」の学校再編との調整が必要です。

【参考】 各プランの新しい通学区域早見表

	Aグループ	Bグループ
プラン1	稲穂1丁目(6~12)、稲穂2丁目、稲穂3丁目、稲穂4丁目、稲穂5丁目、色内1丁目(4~7、15)、色内2丁目、色内3丁目(1~7、11~)、港町(2~5)、富岡1丁目、富岡2丁目、緑1丁目、緑2丁目、緑3丁目、緑4丁目、緑5丁目、最上1丁目、最上2丁目、松ヶ枝1丁目(1~35、37~)、松ヶ枝2丁目、長橋1丁目(1~17)、長橋2丁目(1~14)、天狗山1丁目、天狗山2丁目	稲穂1丁目(1~5)、花園1丁目、花園2丁目、花園3丁目、花園4丁目、花園5丁目、色内1丁目(1~3、8~14)、港町(1、6~10)、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1丁目、入船2丁目、入船3丁目、入船4丁目、入船5丁目、松ヶ枝1丁目(36)、住ノ江1丁目、住ノ江2丁目、住吉町(1~10)、奥沢3丁目(6)、奥沢4丁目(1、2)
プラン2	稲穂1丁目(6~12)、稲穂2丁目、稲穂3丁目、稲穂4丁目、稲穂5丁目、花園5丁目(1、2)、色内1丁目(4~7、15)、色内2丁目、色内3丁目(1~7、11~)、港町(2~5)、入船5丁目(5~18)、富岡1丁目、富岡2丁目、緑1丁目、緑2丁目、緑3丁目、緑4丁目、緑5丁目、最上1丁目、最上2丁目、松ヶ枝1丁目(1~35、37~)、松ヶ枝2丁目、天狗山1丁目、天狗山2丁目、長橋1丁目(1~17)、長橋2丁目(1~14)	稲穂1丁目(1~5)、花園1丁目、花園2丁目、花園3丁目、花園4丁目、花園5丁目(3~10)、色内1丁目(1~3、8~14)、港町(1、6~10)、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1丁目、入船2丁目、入船3丁目、入船4丁目、入船5丁目(1~4、19~)、松ヶ枝1丁目(36)、住ノ江1丁目、住ノ江2丁目、住吉町(1~10)、奥沢3丁目(6)、奥沢4丁目(1、2)
プラン3	稲穂1丁目(6~12)、稲穂2丁目、稲穂3丁目、稲穂4丁目、色内1丁目(4~7、15)、色内2丁目、港町(2~5)、富岡1丁目、富岡2丁目、緑1丁目、緑2丁目、緑3丁目、緑4丁目、緑5丁目、最上1丁目、最上2丁目、松ヶ枝1丁目(1~35、37~)、松ヶ枝2丁目、天狗山1丁目、天狗山2丁目	稲穂1丁目(1~5)、花園1丁目、花園2丁目、花園3丁目、花園4丁目、花園5丁目、色内1丁目(1~3、8~14)、港町(1、6~10)、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1丁目、入船2丁目、入船3丁目、入船4丁目、入船5丁目、松ヶ枝1丁目(36)、住ノ江1丁目、住ノ江2丁目、住吉町(1~10)、奥沢3丁目(6)、奥沢4丁目(1、2)
	<p>【隣接ブロックに編入】</p> <p>長橋1丁目(1~17)、長橋2丁目(1~14)、稲穂5丁目、色内3丁目(1~7、11~)</p>	

	Aグループ	Bグループ
プラン4	稲穂1丁目、稲穂2丁目、稲穂3丁目、稲穂4丁目、花園1丁目、花園2丁目、花園3丁目、花園4丁目、花園5丁目(3~10)、色内1丁目、色内2丁目、港町、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1丁目、入船2丁目、入船3丁目、入船4丁目、入船5丁目(1~4、19~)、富岡1丁目(1~32)、富岡2丁目、緑1丁目(1~8)、松ヶ枝1丁目(36)、住ノ江1丁目、住ノ江2丁目、住吉町(1~10)、奥沢3丁目(6)、奥沢4丁目(1、2)	花園5丁目(1、2)、入船5丁目(5~18)、富岡1丁目(33~)、緑1丁目(9~31)、緑2丁目、緑3丁目、緑4丁目、緑5丁目、最上1丁目、最上2丁目、松ヶ枝1丁目(1~35、37~)、松ヶ枝2丁目、天狗山1丁目、天狗山2丁目
	【隣接ブロックに編入】 長橋1丁目(1~17)、長橋2丁目(1~14)、稲穂5丁目、色内3丁目(1~7、11~)	
プラン5	稲穂1丁目、稲穂2丁目、稲穂3丁目、稲穂4丁目、花園1丁目、花園2丁目、花園3丁目、花園4丁目、花園5丁目(3~10)、色内1丁目、色内2丁目、港町、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1丁目、入船2丁目、入船3丁目、入船4丁目、入船5丁目(1~4、19~)、松ヶ枝1丁目(36)、住ノ江1丁目、住ノ江2丁目、住吉町(1~10)、奥沢3丁目(6)、奥沢4丁目(1、2)	花園5丁目(1、2)、入船5丁目(5~18)、富岡1丁目、富岡2丁目、緑1丁目、緑2丁目、緑3丁目、緑4丁目、緑5丁目、最上1丁目、最上2丁目、松ヶ枝1丁目(1~35、37~)、松ヶ枝2丁目、天狗山1丁目、天狗山2丁目
	【隣接ブロックに編入】 長橋1丁目(1~17)、長橋2丁目(1~14)、稲穂5丁目、色内3丁目(1~7、11~)	